

ワークショップ

哲学的懐疑論と現代社会の懐疑論

2025年3月15日(土) 13:00-15:00

本ワークショップでは、「懐疑」という営みとの付き合い方を哲学の観点から考えます。哲学は、徹底的な懐疑を一つの推進力としてきた一方、懐疑との闘いのなかで知識に関する様々な理論も作り上げてきました。こうした哲学の視点を通じて、現代社会でしばしば問題とされる、科学的事実さえ疑おうとする「懐疑論」や、信じたいことだけを信じる「**相対主義的態度**」と向き合うためのヒントを探りたいと思います。

ワークショップの前半では哲学の専門家から、哲学的懐疑論と現代社会における懐疑論との関係性についてレクチャーしていただき、後半では参加者全員で哲学対話を行います。

哲学に関する前提知識は不要です。様々な関心をお持ちの方の参加を歓迎します。

ゲスト講師



横路佳幸 (名古屋学院大学)

著作:『同一性と個体:種別概念に基づく統一理論に向けて』(慶應義塾大学出版会, 2021年)

訳:ダンカン・プリチャード著『哲学がわかる 懐疑論:パラドクスから生き方へ』(岩波書店, 2023年)

日時 : 2025年3月15日(土) 13:00-15:00

会場 : 駒場 I キャンパス 21 KOMCEE West 402

※要参加登録

UTCPのWEBサイト、もしくは右QRコードより申し込み。



主催 : 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属
共生のための国際哲学研究センター (UTCP) 上廣共生哲学講座